

「東京近郊日帰り旅行 (3)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

この電車の終点は大月駅です。大月が近づいてくると、いろいろと「思い出の山」が見えてきます。要は、「かつて足下に踏んだ山」ということです。



中でも車窓からごく一瞬だけ見えるこの山には、もう何度登ったか数えきれません。「三つ峠山 (みつとうげやま)」といいます。根拠地 (下車駅) は、大月で乗り換えて「富士急行線」の「三つ峠駅」です。いわゆる「夜行日帰り登山」の典型的な山でした。

この山を目指す人は、土曜の晩にまず新宿 23:55 発の「長野野普通列車」に乗ります。深夜の大月駅で乗り換え、臨時の 2:20 発の河口湖行き富士急行電車に乗り換えます。深夜 3 時前に「三つ峠駅」で降りて、夜の登山道を、懐中電灯をたよりに行列になって歩くのです。途中「だるま石」「八十八大師」などで休憩し、ちょうどご来光の頃三つ峠山頂に着く・・・その日のうちに東京に帰る・・・翌朝には出勤・・・という、今では考えられないような強行軍的登山でした。



「扇山 (おうぎやま)」も思い出の山の一つです。前回紹介した「下山後に雹に降られた」のがこの山です。その後も何度か登った記憶があります。



車窓からも扇山はよく見えます。右側の大きな山塊が扇山です。駅が登山口で、比較的楽に登れるので、またいつか登ってみたいと思っています。



車窓風景を楽しんでいるうちに、終着大月駅に到着しました。



東京からの「中央線快速」が来るのは、この駅までです。ここから先の勝沼、塩山、山梨市、甲府方面は乗り換えになりますが、普通列車 (写真左) は編成も短く、もちろんグリーン車も連結されていません。



大月駅は「富士急行線」の乗り換え駅にもなっています。構内改札もあって、パスモやスイカでも通れます。ただし、メロン、モモ、ブドウでは通れません。有人改札もあって、係の人が「次の電車は河口湖行！」とスピーカーでガンガンアナウンスをしていました。

土休日 Saturdays & Holidays		
6	32	15 22 50
7	03 24 55	16 06 36
8	19 40 50	17 16 45
9	16 47 50	18 02 30
10	00 20 49 50	19 05 41
11	01 53 54	20 09 48
12	25 43 55	21 11 43
13	00 44 55	22 30
14	22 44	23 10

電車は1時間に2本か3本もあって、私鉄のローカル線にしては本数が多いように見えます。富士急行は伝統的に、特急も含めてJRからの直通列車が多いのです。東京から直通の普通列車まであります。



まだ早朝でしたが、日曜日ということもあり、利用者は多かったです。半分以上は沿線ハイキングの人、それに外国人観光客もたくさんいました。



大月市は、山と山にはさまれた狭い立地なので、駅前もどこかコジマリしています。今回は折り返し電車がすぐだったので、どこにも寄りませんでした。



中央線快速の始発駅、特急停車駅にしては、駅舎もコジマリしています。背後に見える岩山は「岩殿山」で、中央高速からもよく見えます。



駅前から、富士急行の各駅停車の電車が見えました。地方私鉄のご多分にもれず、富士急行でも他の鉄道会社から譲渡された車両を使っています。写真は元JRの「205系」という通勤型電車を改造したものです。少し前までは、京王線の旧5000系電車も走っていました。私が通学で使っていたなつかしい電車でした。